

製品名: SRp55 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18280**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | SRSF6 |
| 別名 | SRSF6; SFRS6; SRP55; Serine/arginine-rich splicing factor 6; Pre-mRNA-splicing factor SRP55; Splicing factor; arginine/serine-rich 6 |
| 遺伝子 ID | 6431.0 |
| SwissProt ID | Q13247 |
| 免疫原 | SRp55 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 30-110 |

背景

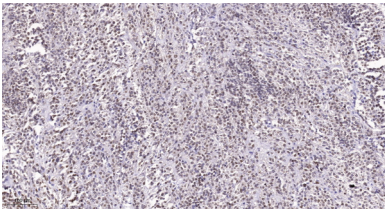
この遺伝子によってコードされるタンパク質は mRNA スプライシングに関与し、選択的スプライシングの決定において役割を果たす

可能性がある。コードされる核タンパク質はスプライシング因子 SR ファミリーに属し、同ファミリーの別のメンバーである SFRS12 と結合し、その機能を調節することが示されている。選択的スプライシングは複数の転写産物バリエーションをもたらす。さらに、この遺伝子には2つの擬遺伝子（1つは17番染色体上、もう1つはX染色体上）が見出されている。[RefSeq 提供、2010年9月],機能: 恒常的スプライシングに関与し、選択的スプライシング部位の選択を調節することができる。、PTM: RS ドメインのセリン残基が広範囲にリン酸化されている。、類似性: スプライシング因子 SR ファミリーに属する。、類似性: 2つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。、サブユニット: SFRS12 に結合する。、

研究分野

スプライソソーム;

画像データ



パラフィン包埋ヒト小腸間質腫瘍の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。